

「空しさからの脱却」 <先週の講壇より>

「伝道者は言う、空の空、空の空、いっさいは空である。」伝道の書 1:2 【口語訳】

「空」とは旧約聖書原語のヘブル語では「煙」「蒸気」といった意味があります。煙や蒸気は目に見えますが、手につかむことはできません。そして実態があるように見えても、あっという間に消えてなくなります。

本書の著者ソロモンは、自分の人生と重ね合わせながら、神様がいない人生はまるで煙のようだ、蒸気のような、空しくはかないものでしかない・・・と語りました。それを逆に言い換えるならば、神様がおられるなら、その人生には意味があり、価値があり、希望があるということになるでしょう。

私もかつて神無き人生を歩み、空しさが心を支配しておりました。でも神様に出会い、人生が変わりました。もちろん、その後はすべてバラ色でなんの悩みもない、などということはありません。でも明日を生きる力が与えられ、希望がここにある。それがイエス・キリストと歩む今の私の人生です。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025 年 9 月 14 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ 5:14

☆集案案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

